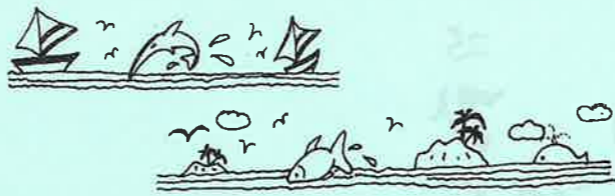


ウッドパッカー

青森県教組養護教員部 2024.8.9.



ドキッとした言葉

学校行けなくて苦しい

学校行きたくなくて苦しい

学校行って苦しい

学校に来た私を見て

よかった よかった

先生なにがよかったの

父さんなにがよかったの

母さんなにがよかったの

(堂野博之『あかね色の空を見たよ』)

高文研)

いい人

いい雨

いい天気

みんな

私中心

蓮心寺

人間誰でも

自分中心に生

きています

こういう言葉を

見るとドキッ

とします

お元気ですか。
夏休み、少しゆっくりできていますか。
学校の仕事だけでなく、家の中のことや
家族への対応もゆったりした気持ちで
できるといいですね。祭りや旅行などの
イベントも楽しみましょう。イベントだけでは
なく、日々の暮らしの中に楽しみや喜びがあ
ると生きてるっていいなあ...と思えます。先
月書いた“蛙の合唱”や一日が終わって飲
むビールが格別にうまい...とか(私の場合)。

「人間はね、人に希望を与えるような生
き方をせな、あかん！」

バイマーマンジンの義母

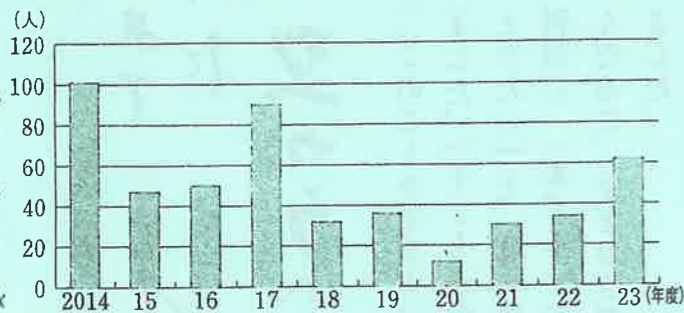
折々ことば

鷲田 清一 3061

日本人と結婚し、大阪で暮らし始めたチベット人の声楽家は、派手な服装で出かける義母の姿に驚愕する。その背景には、旧満州での極貧の生活経験があった。そして、魚が欲しい人には魚を与えるのではなく、それを捕る方法を教えよという諺を知り、教育の重要性を痛感した彼女は、アルバイトで得た給料を貯め、故郷に次々と学校を造っていった。『幸せへの近道』から。

2024.4.19

経済的理由で中退した私立高校生数



「しんぶん赤旗」24.6.27

全国私立学校教職員組合連合

(全国私教連) 調査. 329高校(在籍27万9752人)から回答が得られた。

- 「学費や生活費捻出のためにアルバイトをする生徒(44.5%)」
- 「進路希望を変更する生徒(38.5%)」
- 43校181人が経済的理由で修学旅行に参加できず。



アンケートよろしく!

7月中にお手元に届いていると思いますがもうお書きになりましたか。少しゆっくりできる今だからこそ自分の仕事をふり返ってみましょう。お待ちしております。
※×切 8月25日(日)
多少遅れてもかまいません。文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



本の紹介 重松 清著 『青い鳥』新潮文庫

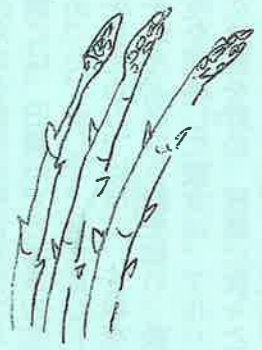
いじめの加害者になってしまった生徒、父親の自殺に苦しむ生徒、気持ちを伝えられずに抱え込む生徒、家庭を知らずに育った生徒——後悔、責任、そして希望。ひとりぼっちの心にそっと寄り添い、本当にたいせつなことは何かを教えてくれる物語。

いい本です。中学生の気持ちが痛いほどわかります。私は2回読みました。
ねぶた祭りの真最中。青森も弘前も五所川原も見たいけど、気力・体力や時間の折り合いがつかず揺れています。何となく焦っているような取り残されるような思い。桜祭りの時も同じ気持ちになったりします。地元 黒石ねぶたの合同運行を見たから良しにしようかな... (8/5書きました)。

24.

気もつげマ

みていこう



保健室に「ケガ」をしてくる子ども達がいいます。歯を床にぶつけた、折れていました。

ころんだ時に、手が出ないで顔からころんだのです。今迄と違うケガのしかたです。

体を支える筋肉や、神経系がどうなっているのか瞬間的に体を守るための、力が弱くなっているのではないかと、子ども達の様子を気をつけて見ることにしました。

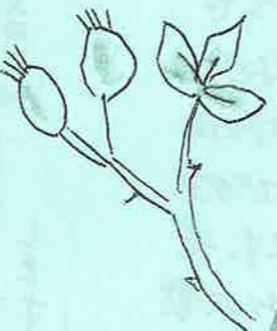
子どもの発達が変わってきているのかなと……。

25.

ひとり

ひとり

わけがある



遠足で歩いている時、足の下が、いたいという子がいました。どうしたのかなと足の下を見てみると、「土踏まず」がなく、ペタンコの足でした。

足を支えている筋肉が、弱くなってきたいるのだなと、その子は、余り普段から外遊びをすることなく、すごしている子どもでした。

小さい時に腸の手術をし、体を気づかってくらしていること、お母さんから聞きました。一人ひとり事情があるということ、再確認しました

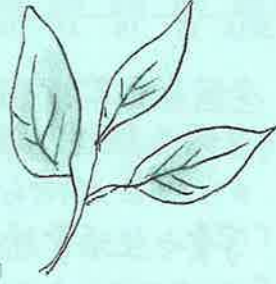
どの子も どんなことも
土岐満子(7)

26.

はじめて

見た

足型から



このことを先生方にはなしました。「子ども達の足型をとりたい」と、体育の時間を利用して、「朱ずみ」のしみこんだ布に、足をおき型をとりました。

子ども達は自分の足型をはじめて見ておどろいていました。友達と比較し、その違いを見て、「土踏まず」をつくるにはどんなことをすれば良いか、子ども達の課題になりました。

「外で足をつかう」遊びをしようは子ども達も納得です。休みじかにぎやかでした。

27.

外で

山山山

あそぶこと



そんな中で、どんな遊びをすれば良いのか、仲間に入れないでいるのか「ボー」としている子がいました。

子ども達の中に入り、仲間とむれて遊ぶという体験がなく、一人での手あそび(ファミコン)がこんなところからわれているのかな、子ども達が交流して遊ぶことは、子どもの心と体の発達にとって、欠かすことが出来ないことだと思えました。

交流できる身体をつかった遊びを大切にしたいと思いました。